

**基本方針**：基本理念実現のため、今後5年間で優先的に力を入れて行くべき、**課題に対する方針**

基本理念	函館観光のあるべき姿（将来像）、5年後の函館観光の目指すべき姿として提示 →観光業の活性化の方向性を示し、観光事業者の共感が得られるものとしてとりまとめる ※本委員会で議論			
基本方針	前回の会議で方向性として確認したもの		事務局からの提案	その他
	<b>方針1</b> <b>質の高い観光による観光消費額の向上</b>	<b>方針2</b> <b>観光の繁閑差の是正</b>	<b>方針3</b> <b>函館観光を盛り上げる人を増やす</b>	<b>方針4</b> …
	(考え方・狙い等) ・単に旅行者の数だけを追い求めるのではなく、質の高い観光へ 「サービス満足度向上」「富裕層誘客」「高い満足度商品」等 →「一人当たり観光消費額向上」「宿泊日数の増加」「リピート促進」	(考え方・狙い等) ・観光の入込の季節の平準化を目指し、オーバーツーリズムを回避しつつ効果的に観光客の入込増と地域全体としての観光収入の増加を目指す。 ・このことにより、観光関連産業の経営の安定化とともに、雇用者を確保しやすくなることが期待される。	(考え方・狙い等) ・市民が地域の観光に関心を持ち、観光の取組への貢献意欲の醸成につながる取組を進め、観光産業の将来の担い手の円滑な確保、市民の函館愛の醸成につなげる。	—
(関係するこれまでの議論のキーワード) ・マーケティング、戦略的観光施策 ・観光客数ではなく消費額を重視 ・魅力あるコンテンツの造成、高い満足度 ・わかりやすく、適切な情報発信、洗練された情報発信人材 ・多様性、ユニバーサルデザイン ・質の高いガイドの確保・育成 ・宿泊日数増加につながる取組の重要性 ・二次交通の改善 など	(関係するこれまでの議論のキーワード) ・閑散期対策による観光業の経営安定 ・下期は観光客誘客推進 ATコンテンツの見せ方の工夫 閑散期の戦略的なインバウンド誘致 MICEの推進 など	(関係するこれまでの議論のキーワード) ・函館の観光に関心を持つ若者が活躍できる場の確保 ・地元の人が市内の名所を訪れ発信できる環境づくりの必要性 ・地元の大学等の卒業生の地元企業への就職拡大 ・観光業の収入増加＝その他函館市産業の発展・函館市民の生活の豊かさに繋がる。地域循環を示す など	—	